東京商工新聞

第475号
発行　東京商工団体連合会
〒116-0013 荒川区西日暮里6-62-1
電　話　03-5692-5081
ＦＡＸ　03-5692-5091
発行責任者　井賀眞一
ホームページ 東商連 ⇒ 検索　電子メール mailadm@toshoren.jp

コロナ禍から営業と生活を守る運動をすすめ、
総選挙で野党連合政権の実現を

東商連第７５回定期総会

東京商工団体連合会（以下、東商連）９月１９日に、第７５回定期総会を開催しました。今回の総会は東商連会場をメイン会場に、各民商事務所とウェブでつなげて行いました。

開会のあいさつで武田武副会長は「コロナ禍において中小業者はますます厳しい状況に置かれている。だからこそ、今日の総会を機に東商連の前進へ。運動の展望をつかんでいこう」と呼びかけました。

大内朱史事務局長による方針案、特別決議案の提案、田中茂会計による決算・予算案の提案などのあと、「会員拡大について」（新宿）、「コロナ禍の支部活動」（北区）、「仲間増やしと相談会を軸足にした紹介運動について」（板橋）、「業者の現状と共闘」（蒲田）、「豊島民商と文京民商の統合合併について」（豊島）、「仲間の健康に寄り添う共済活動について」（共済会）、「業者青年の声も届く政治の実現へ。都庁懇談と国会議員懇談での経験」（東青協）など、要求運動と組織建設を一体で取り組むことで前進を勝ちとっている経験や今後の運動の展望が語られました。

総会方針案、特別決議案、決算・予算案を採択し、星実会長（再）、大内朱史事務局長（再）ら１０５人の新役員を選出。閉会あいさつでは小林昭子副会長が「消費税減税・インボイス制度の中止のために、多くの仲間と大運動を展開しよう」と呼び掛け、団結ガンバロウで閉会しました。

都立・公社病院独法化をやめろ
都庁前で抗議

都庁第一庁舎前にて都議会開会日行動が９月２８日に行われました。

各団体からの訴えは、いま議会最大の争点である「都立・公社病院の独法化中止」のみに絞って開催。コロナ禍で中心的な役割を担う都立・公社病院の運営を利益優先の民間病院に近づける独法化強行に、「都民の命と健康のとりでが後退する」と都民団体から強く反対する声が上がりました。

都議会から激励のあいさつに日本共産党の大山とも子都議が駆けつけ、立憲民主党の西沢けいた都議とグリーンな東京の漢人あきこ都議のメッセージが紹介されました。行動には１２０人が参加し、集会最後に知事室に向かってシュプレヒコールを行いました。

１０・８都議会包囲行動

１０月８日には独法化の撤回を求める幅広い団体・市民の抗議行動が行われ、都庁前に約５００人が参加しました。

参加者は「いのちを守る運動をさらに広げよう」とプラカードを掲げて声を上げました。

インボイス制度は中止に
財務省前抗議行動

９月２９日に、消費税減税と、１０月から発行事業者登録が始まるインボイス（適格請求書）制度の実施中止を求め、財務省・経済産業省前で声をあげました。

湖東京至税理士は「インボイス導入は、消費税率を欧州並みに引き上げるための地ならしだ。導入させたら１５％、２０％と上げられかねない」と述べました。行動に駆けつけた日本共産党の大門みきし参議院議員は、「多くの業者が、消費税減税、インボイス導入中止を求めている。総選挙で野党連合政権をつくり、営業を守る政治へ転換しよう」と呼びかけました。

行動に参加した玉川民商の豊島孝子副会長は「インボイスは、税務署からお腹の中まで見られてしまうようなやり方。導入する狙いは消費税の取りこぼしのないように私たちを狙っています。中止にさせるしかありません」と話しました。

抗議行動に参加した皆さん（財務省前）

より民商らしい共済会へ
東商連共済会第46回定期総会

東商連共済会第４６回定期総会が１０月１０日に開催。今回はコロナ感染拡大防止の観点から、オンラインで半日での開催となりました。方針案の提案、報告。決算・会計監査報告、予算案提案のあと討論では５人が発言。コロナ禍で集まることが難しいなかでも、創意工夫をおこないながら、「気くばり、目くばり、こころくばり」の活動で会員から喜ばれる活動を進めていることが報告されました。

発言は、「毎月理事会を開催し、そのなかで必ず学習をおこない、確信をもって運動に足を踏み出している」（蒲田）。「抗原検査、大腸がんなどの検診活動を組織活動、体制確立のちからに」（足立西）。「大腸がん検診で、民商と会員の結びつきを強める」（三鷹）。「合併をちからに、いのちと健康を守る運動を強化、婦人部と共催で婦人科検診を実現」（豊島・文京）。「民商らしい共済をめざし、コロナ禍でも継続した訪問活動」（板橋）。

その後のまとめ報告では、「より民商らしい共済」の実現のために、会員加入率８０％達成へ、独自追及を。そして、総選挙をいのちと健康を守る政治に変える大きなチャンスであり、共済会としても対話運動に取り組むことが強調されました。

採択では、方針案・まとめ報告、決算・会計監査、予算案、新役員について、それぞれ全会一致で承認。また、今回の総会では３人の役員が退任されました。

今期から黒須さんが新理事長に選出され、あいさつでは「必ず８０％達成を！」と訴え。

最後に巻島副理事長から「共済運動の前進をみんなのちからで」とあいさつがあり、参加者の拍手で決意をかためあいました。

東商連会館（メイン会場）の様子

宣言解除

「済証」なしはお酒提供できず

東商連 都に緊急要請

東京都の担当者が来店して点検すると発行される「徹底点検済証」を、緊急事態宣伝解除後の10月1日から提示していない飲食店はお酒の提供をすると協力金の対象外になってしまう問題で、小池都知事が会見した9月28日以降、都内の飲食店が大混乱し、民商会員からも問い合わせが殺到しました。

これを受け、東商連では都に対し「点検の予約をした飲食店にはお酒の提供を認めよ」と緊急の要請行動を行いました。

都側は感染対策を担当する総務部総合防災部の職員が対応。飲食店の混乱を受け「実態を聞きながら対応したい」と応じました。

当事者たちの訴え

豊島・文京民商のスナックを営む方は「宣言解除間際に『済証』が必要だと言われて、急いで申請したがパニックになった。今まで感染対策に頑張ってきたけど、協力金の対象外になるなんて、東京都から見捨てられた気分」と心情を告白。一緒に参加した同民商の居酒屋の方も「9月に点検の職員が来たみたいだが、お店を休業中で留守だったため、対応できなかった。この間申請の電話をしたら、7分も待たされた挙句、点検に来てくれるまで3週間かかると言われた。お酒が出せなければ休業するしかない」と怒りを込めて現状を語りました。

参加した事務局員からも、「済証は今まで必須の添付資料ではなかった。急に必要だと言われても、都の職員はすぐに来てくれるわけじゃないし、『だから早く申請しなさいと言ってきた』との小池都知事の上から目線にも腹が立った」、「いま混乱しているのはこれまで都の呼び掛けに応えて感染対策に努力してきた人たち。会員からも『せっかくお酒が出せると思ったのに…』と嘆きの声が寄せられている。点検の申請をした人たちには特例でお酒の提供を認め協力金も対象にしてもらいたい」と強く訴えました。

担当課長も「皆さんが感染対策に尽力してきたことにとても感謝している。点検が速やかに行われるように人員を増やして対応したい」と応えました。

交渉を終え、参加者からは「今まで募っていた不満を話せてスッキリした」と話し、制度が改善されることでみんなの役に立てることを期待しました。

業者の実態を訴えました

読者のひとこと

国民の生活向上を

緊急事態宣言が解除されました。飲食業にも他の業種のみなさんにも売上が回復することを願っています。新内閣になりましたが消費税は減税してほしいです。

（足立区　高橋陽子）

総選挙で政権交代を！

それこそ1カ月近く自民党の総裁選挙のことを毎日、朝昼晩と見せられ、聞かされてきました。しかも決まったのは安倍・菅政治直系の人物。総選挙で政権交代を実現し政治を変えたいと思ったのは私だけでしょうか！

（足立区　鈴木賢市）

多くの商店応援したい！

緊急事態宣言が解除になりましたが、商店の立て直しは大変です。少しでも売上に協力していこうと思います。ガンバレ！商店の皆さん。

（中野区　渡辺富子）

10月号のパズルの答え

シンバングミ

次の方に図書カードを送ります。

国分尋実（板橋区）
金井喜久子（豊島区）
村田　靖（西東京市）
敬称略

お楽しみ図書カードが当たる ザ・クロスワード No.146

応募要領

●答えはハガキ・ファックス・メールに書いて東商連まで送ってください。所属民商名・団体名も。締切は毎月第2月曜日。なおひとこと、紙面についてのご意見・ご要望・営業とくらしなどの状況をお寄せください。
●正解者多数の場合抽選で、3人に図書カードをプレゼント。発表は紙面に掲載します。

◆ヨコのカギ

1　大学に振り込みます
4　汚名は返上、名誉は？
7　南京豆、ピーナッツ
9　壬申（じんしん）、応仁といえば
10　今年の……冬は11月7日です
11　まゆから糸をとります
12　……ガイとは頑強な人
14　カリブ海にある島国
16　年に4回発行する雑誌
18　貸したお金の報酬
20　バーチャル空間とは……空間のことです
21　ドリームです
23　４種類の剣道具の一つ
24　生産量1位は鹿児島県
26　アナログではない
27　ほかの人と異なる意見

◆タテのカギ

1　値打ちのない物ばかりですが時には掘り出し物も
2　革が化けると？
3　のぞみやこだまの仲間
4　半沢直樹の名セリフといえば「……返しだ！」
5　うわべだけは偉そう
6　オウム目の小鳥です
8　台風が日本に……
11　マイ……、パト……
13　雑巾を使って室内をきれいにします
15　品物を外国に売ります
17　乳牛や雌牛のことです
19　Q&AのQ
20　旅立ち。人生の……
22　くらくらした感じ
24　十二支の9番目
25　……気、……物

【解き方】カギを解いてクロスワードを完成したら、二重ワクの文字をうまくつないで言葉を完成させてください。

インボイス制度中止の声広げよう

江東民商北砂支部 学習会を開催

9月17日に江東民商北砂支部のインボイス制度学習会を開催しました。9人が参加し、参加した会員の業種は設備工事、運送、クリーニング、ガラス製品加工など多岐に渡りました。

赤羽目新児事務局長がインボイス制度の概要や問題点を、現在の消費税納税額計算方法などを交えて説明しました。また、広範な団体が反対や懸念を表明していることも紹介しました。

学習後、参加した会員からは「こんな危険な制度を誰が考え出したのか」、「免税事業者が商売できなくなる。」、「外注先に課税事業者になってくれなど言えるはずがない」、など怒りの声が次々出されました。また、「うちはインボイスを発行できる事務体制が作れないから、値下げに応じるしかないかも」、「インボイスの保管は紙じゃないといけないのか」など、心配や疑問も出し合いました。

今回の学習が2回目となる会員からは「2回、インボイス制度の説明を聞いてようやく理解できてきた。何度も学習しないとなかなか覚えられない」という意見も出されました。

懇談後、北砂支部長で民商会長でもある豊田文雄会長から「何としてもインボイス制度を廃止に追い込むために、反対の声を広げよう。ぜひ知り合いに制度を広め、秋の運動では反対署名を集めつつ、民商の仲間を増やしましょう。制度の理解を深めるためにも、9月28日に湖東税理士を呼んで行われる学習会にもぜひ参加して欲しい」と呼びかけがありました。

最後に、赤羽目事務局長より「なんといっても今度の選挙で野党共闘を広げ切り、消費税率引き下げが実現すればインボイス制度を廃止に追い込める。そのためにも、会員が力を合わせましょう」と訴えがあり、参加者一同で制度廃止に向けた運動を広げることを決意して散会となりました。

学習会後、参加した会員から「さっそく知り合いの業者に学習会を知らせた。インボイス制度を説明しようとしたが、なかなかうまくできなかった。何度も学習が必要ですね」と嬉しい報告がありました。

支部会でインボイスの問題点を話し合う

掲示板

倉敷民商弾圧事件・無罪を勝ちとる東京の会 第7回総会

※延期になりました。
日時　11月20日（土）午後2時～
Web開催

俳句

石川貞夫選

野にあれとバッタつまんで庭に出す
大田区　高橋　清美

〔評〕部屋に迷いこんだバッタへの、思いやりが嬉しい。

天ぷらにからりと白き紫蘇の花
三鷹市　根岸　操

〔評〕紫蘇の花を添えただけで、おいしさが倍増するよう。

名の知らぬ野の花みつけ秋活けり
足立区　望月千恵子

〔評〕名も知らぬ野の花によって、部屋は一気に秋の気配。

ひとけない晩秋の香の街の朝
江戸川区　細川　水雲

とりどりのサラダのような秋の庭
大田区　山根　康子

合せ着て過去を旅する老いし母
大田区　出川ひろ子

上り坂きんもくせいの香の中へ
大田区　馬場　恵子

＊他にも佳句あり。次回もぜひ健筆を！

【投稿規定】ハガキに3句以内。未発表に限る。住所・氏名・電話番号を明記のこと。締切は毎月第2月曜日。宛先は東京商工団体連合会「東京商工新聞」編集部。掲載者には図書カードを贈呈いたします。